



国会議事堂屋上から見たベルリン中心部
2010年4月8日 池田 真利子 撮影

地理空間学会ニュースレター

TOPICS

- ・第5回大会の案内
- ・大会巡検のご案内
- ・学会賞受賞者コメント（丸山浩明，三木一彦，花木宏直）
- ・例会の案内
- ・寄贈図書紹介
- ・学会からのお知らせ
- ・コラム「わたしのフィールドから」（池田真利子）

JAGS

第5回大会のお知らせ

第5回大会を下記の通り開催いたします。

【日程】 2012年6月30日（土）：口頭発表、ポスター発表、評議員会、招待講演、総会、表彰式、懇親会

7月1日（日）：巡検

【会場】 筑波大学東京キャンパス文京校舎1階（文京区大塚3-29-1）134講義室（口頭発表、招待講演、総会）・122講義室（ポスター発表）、431会議室（評議員会）

【交通】 地下鉄丸ノ内線茗荷谷（みょうがだに）駅下車1番出口徒歩2分程度

【費用】

大会参加費 一般会員：500円 大学院生会員・学生会員：無料 非会員：1,000円

懇親会費 一般会員：5,000円 大学院生会員・学生会員：3,000円 非会員：5,000円

※別途、希望者は今年度の学会費の支払いも承ります。

【プログラム】6月30日（土）

9：30～ 受付

10：00～12：00 口頭発表1（134講義室）

福井一喜（筑波大・院）：長野県飯田市におけるローカル

新聞を用いた広告活動の展開。

渡邊敬逸（財団法人小千谷産業開発センター）：中山間地域における集落連合の形成と課題—小千谷市東山地区を事例に—。

堀本雅章（法政大沖縄文化研究所）：架橋に対する住民意識—沖縄県伊平屋島村野甫島の事例—

卯田卓矢（筑波大・院）：戦前期比叡山における観光化と教団の対応。

Konstantin GREGER（筑波大・院）：Micro-Scale Terrorism Vulnerability Mapping：A Case Study of Tokyo, Japan.

吉田国光（金沢大）：十勝平野における農家間ネットワークからみた大規模畑作をめぐる農業生産空間—とくに共同収穫と出荷形態に注目して—。

10：00～15：00 ポスター発表（122講義室）（詳細は末尾に記載）

12：00～13：00 昼休み（近隣の飲食店をご利用下さい。）

12：00～12：45 評議員会（431会議室）

13：00～14：20 口頭発表2（134講義室）

鄭 玉姫（立教大・非）・丸山宗志（立教大・研）・佐藤大祐（立教大）：昭和初期の雲仙における外国人客層と東アジア避暑地間の競合。

久木元美琴（学振 PD・首都大）・小泉 諒（首都大・院）：東京都における保育サービス供給の地域格差—認可外保育所の立地と供給主体に注目して—。

岩間信之（茨城キリスト教大）：日本におけるフードデザート問題研究のフレームワーク。

藤永 豪（佐賀大）：干潟・浅海域における漁撈と環境認知—有明海の事例—。

14：20～15：00 ポスター発表のコアタイム（122 講義室）※ポスター賞の投票締切 15:00

15：00～16：00 招待講演

田代 博（筑波大附属高）：メルカトルはオランダ人ではない！地図・地理教育の現場からの話題提供—40 年の授業実践を踏まえて—。

16：00～16：50 総会および表彰式（134 講義室）

17：20～19：00 懇親会（当日受付、40 名まで）

会場：仙鶴楼（文京区小石川 5-6-9 ドミ小石川ビル、電話 03-3945-1566）

【ポスター発表一覧】

P01 艾 博翰（筑波大・院）・山本敏貴（筑波大・院）・橋本 操（筑波大・院）・Ko Ko LWIN（筑波大）・村山祐司（筑波大）：キャンパスライフ向上のための Web GIS。

P02 石坂 愛（筑波大・院）：空間認識と場所イメージの主体別比較—「原宿」を事例に—。

P03 磯野 巧（筑波大・院）・蘇 磊（筑波大・院）・新名

亜津子（鳥取環境大）：南アルプスジオパークにおけるジオサイトの利活用。

P04 小野 優（東京大・院）：東日本大震災に伴う帰宅困難者の空間行動。

P05 金子 愛（筑波大・院）：平成の大合併における群馬県高崎市と周辺市町村の合併協議過程に関する研究—吉井町と玉村町を事例として—。

P06 神 文也（筑波大・院）：観光にみる筑波山のイメージメディア分析を用いて—。

P07 北島吉崇（日本放送協会）・藤永 豪（佐賀大）：沖縄渡嘉敷島阿波連における信仰空間とその変容。

P08 駒木伸比古（愛知大）：愛知県におけるドラッグストアの立地展開—超高齢社会における地域医療拠点としての役割に着目して—。

P09 小室 譲（筑波大・院）：山村地域における観光客の受け入れ態勢と地域住民による観光地の形成について—宮崎県高千穂町を事例に—。

P10 中川恵理子（東京大・院）：生鮮野菜産地の集中度と卸売市場間価格差の空間パターン分析。

P11 橋爪孝介（筑波大・院）：ローカルフードの導入による地域振興の現状と課題—三重県鳥羽市を事例に—。

P12 細谷美紀（筑波大・院）：日本における学歴付与システムの実態と変容。

P13 村上翔太（筑波大・院）：つくば市における都市公園の施設と利用—近隣公園に着目して—。

P14 渡邊瑛季（筑波大・院）：日本におけるスピードスケートの地域的特徴。

大会巡検のご案内

7 月 1 日（日）に大会巡検がございます（雨天決行）。

【巡検テーマ】

「町並みにみる伝統的価値の再発見—谷中からアキバにあるく—」

【日時】 7 月 1 日（日） 10：00～16：00

【オーガナイザー】

池田真利子・磯野 巧・卯田卓矢（筑波大・院生）

【集合場所】

東京メトロ千代田線 千駄木駅 出口2（道灌山方面改札）を出てすぐの須藤公園内集合

【参加費】

500 円程度（移動代など各自負担分。昼食代別。）

【内容】

谷中（谷中商店街・谷中墓地・アート等）→上野公園→湯島→秋葉原（全行程徒歩・雨天決行）

詳細は学会ホームページをご覧ください。

※ 巡検の参加には事前申し込みが必要です。

巡検参加ご希望の方は、電子メールにて、件名に【巡検申し込み】、本文に参加者（全員分）の御氏名・御所属・

当日連絡可能な連絡先（携帯電話番号など）を記入の上、池田（marikoi@geoenv.tsukuba.ac.jp）までご連絡ください。

締め切りは 6 月 28 日（木）とさせていただきます。具体的な巡検行程・および最新の情報につきましては、地理空間学会 HP をご参照ください。なお、誠に勝手ではありますが、巡検行程や巡検の形式上、定員を 30 名とさせていただきます。また、締め切り以前でも定員に達し次第、受付を閉め切らせていただくこともありますのでご容赦ください。

学会賞受賞者コメント

この度、地理空間学会 2010 年度（第 2 回）学会賞の学術賞を受賞された丸山浩明会員と三木一彦会員、および奨

励賞を受賞された花木宏直会員から受賞のコメントをいただきました。

学術賞 丸山 浩明会員（立教大）



このたびは編著『ブラジル日本移民—百年の軌跡—』（明石書店）に対して、栄誉ある学会賞（学術賞）を頂戴し、深く感謝申し上げます。振り返れば、初めてブラジルの地を踏んで以来、すでに 25 年の歳月が流れてしまいました。この間、ブラジルの自然と人々に魅了され、ブラジル研究一筋に歩んで来た気がします。ノルデステやパンタナールで長く地域開発と環境問題を追いつけてきた経歴からすると、日本移民を対象とした今回の著作は少し異色の感がありますが、日本人としていずれ取り組みたいと心に決めていた大切なテーマでした。

今回、少し前倒しで研究を始動させた背景には、日本移民の急速な高齢化にともなう貴重な移民資料の消失や聞

き取り調査の困難化がありました。本書はこうした危機感の中、立教大学ラテンアメリカ研究所を推進母体として実施したプロジェクト研究「ブラジルにおける日系移民資料の分析・保存とデジタルアーカイブ構築：移民百年の軌跡」と、国際会議「ブラジル日本人移民 100 年の軌跡」の成果を取りまとめたもので、多様な学問分野の協同による学際的なブラジル移民研究の可能性を具体的に追求した内容となっています。

本研究を通じて、明治以降、日本人が異国で辿ったもう一つの生活史に光を当て、そこから見えてくるものを、今を生きる日本人として真摯に再検証することの重要性を痛感しております。今回の受賞を一つの励みに、これからもブラジル研究に専心したいと思います。

学術賞 三木 一彦会員（文教大）



このたびは学術賞をいただき、ありがとうございました。受賞対象となった拙著『三峰信仰の展開と地域的基盤』（古今書院）は、江戸時代を中心として、三峰山（現、埼玉県秩父市）に対する信仰の展開を、当時の関東地方における経済的・社会的状況と関わらせつつ論じたものです。本研究は、狭義には宗教地理学の範疇に属することになりますが、信仰だけを俎上に載せるのでは

なく、地域を総体としてとらえ、その中の一事象として信仰をみるという視点を大切にしたいつもりです。もとよりこの視点は私の独創ではなく、筑波大学入学以降、とりわけ実習などの現地調査において、地域を総合的にとらえるという地道ながらも大切な訓練をうけてきたことが大きかったと思います。今後は、この受賞を励みとして、次の一步を踏み出していきたいと考えています。

奨励賞 花木 宏直会員（筑波大・院）

この度は、拙稿「大正期～昭和初期の芸予諸島・大三島におけるマニラ移民と国内出稼ぎの特性―旧岡山村口総地区を事例として―」（人文地理 62-5）、および「近世後期～明治前期における柑橘品種を需要―和歌山市街及び周辺地域を事例に―」に対し、地理空間学会賞・奨励賞を頂戴いたし、大変光栄に存じます。

私は、近代期における人口移動や商品流通の展開をテーマとしております。前者は、学部生の頃より取り組んできた、瀬戸内地域におけるフィールドワークに基づく研究成果であります。拙稿では、地域住民は海外移民や出稼ぎにより各地へ転出しながらも、その一部が資金提供や就業機会の提供を通じて、在村の有力者に代わり出身地の維持に重要な役割を果たすと指摘しました。拙稿をつうじて、近代期における村落の維持・運営のあり方の一特性を提示できたものと考えております。

後者は、「明治期の和歌山県那賀郡における北米輸出に伴う柑橘産地の変容」（歴史地理学 53-1）を執筆した際の、副次的な研究成果であります。いずれも、明治前期より現れた生活変化の1つである、温州蜜柑の生食需要の普及に注目し、歴史地理学論文では海外輸出との関わりで、後者はわが国の町場での動向を検討しました。近世後期の温州蜜柑は、子どもの嗜好品程度にとどまっていた点をはじめ、今日とは異質な生活実態を復原できたと考えております。

今日、解釈主体の地理学研究の比重が高まり、実証的な地理学研究は下火になっていると存じます。しかし、丹念なフィールドワークをつうじて、意義深いにもかかわらずこれまでみすごされてきた、過去の事実を提示することの意義は失われたいと確信しております。この度の受賞を大きな糧として、これからもインパクトのある過去の事実を発見できるよう、研究に邁進していきたいと存じます。

寄贈図書情報

『歴史 GIS の地平』編集委員会様より著書を寄贈いただきました。

HGIS 研究協議会編：『歴史 GIS の地平 景観・環境・地域構造

の復原に向けて』勉強出版、2012 年 3 月刊、262 頁。

※ 内容についての詳細は出版社のホームページをご覧ください。URL <http://bensei.jp/>

学会からのお知らせ

＜会計委員会からのお知らせ＞

1. 会費納入のお願い

多くの方々から会費の納入をいただいておりますが、若

干名、過年度の会費納入がお済みでない方もいらっしゃいます。未納の方は、「地理空間」第 4 巻 1 号に同封した振

込用紙でお支払下さい。納付したか不明な方や振込用紙を希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。大学を通じて電子振込みをされる場合には、必ず氏名とご所属先の明記をお願い致します。

[年会費の振込先]

(ア) ゆうちょ銀行への振込 (ゆうちょ銀行の振込用紙を使用) 口座記号: 00120-5 口座番号: 779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900
店番: 019 店名: ○一九店 (セ”ロイチキュウテン)
預金種目: 当座 口座番号: 0779957 受取人名: チリクウカンカ”ツカイ

(ウ) 年会費 一般会員 4,000 円 大学院生会費 2,000 円, 学生会費 1,000 円

2. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について、会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

[地理空間学会学術基金の内容]

名称: 地理空間学会学術基金

目的: 地理学の優れた研究者を育成することを目的として、その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

募集対象: 本学会の活動理念を理解し、本寄付の趣旨にご賛同いただける方。

ご依頼額: 1 口 2 万円 (何口でも可能です)

[振込方法]

(ア) ゆうちょ銀行への振込 (ゆうちょ銀行の振込用紙を使用) 口座記号: 00150-3 口座番号: 707452

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900
店番: 019 店名: ○一九店 (セ”ロイチキュウテン)
預金種目: 当座 口座番号: 0707452
受取人名: チリクウカンカ”ツカйка”クシ”ユツキキン

※ 基金への寄付をしていただいた方のお名前は、機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は、「匿名希望」とご記入下さい。不明な点は、事務局までお問い合わせください。

<編集委員会からのお知らせ>

1. 第5巻1号発行のお知らせ

「地理空間」第5巻1号は、2012年6月末の発行を予定しております。

2. 超過ページ料金改正について

地理空間学会第3回総会において、超過ページの料金が改正されました。「地理空間」第4巻1号から適用されています。

[改正前]	刷り上がり	12 頁まで	: 無料
		13 頁以降	: 10,000 円/頁
[改正後]	刷り上がり	12 頁まで	: 無料
		13~16 頁	: 10,000 円/頁
		17 頁以降	: 5,000 円/頁

3. 次号以降の投稿について

第5巻1号は、2012年6月末の発行を予定しております。

以降の原稿は随時受け付けており、査読を経て受理された論文から順次掲載して参ります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。投稿規定や執筆要領については、地理空間学会ホームページもしくは「地理空間」第1巻2号をご覧ください。

4. 定期購読のお願い

本学会の活動を知っていただくため、会員の皆さまの研究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購読いただける場合には、学会事務局までお知らせ下さい。

5. 「地理空間」掲載論文のリポジトリ等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学等の学術リポジトリや著者本人のホームページ等へ自

著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までご連絡下さい。

コラム「わたしのフィールドから」

池田 真利子（筑波大・院）

表紙の写真は、ドイツの首都ベルリンの中心部に立地する国会議事堂（Reichstag）屋上から北東側に向けて一望したものです。

現在、激動の最中にあるEUの政治的中枢ともいえる同建物ですが、第二次世界大戦において大きな被害を被りました。議事堂内部には現在も旧ソ連兵が残した落書き等が残り、多くの観光客が訪れる観光地となっています。写真左手にはドイツ連邦議会の建物、中央にはベルリン市内を流れるシュプレー川と右手川岸にフリードリヒシュトラセ駅、写真右手には東ドイツ時代のシンボルであったテレビ塔、そして世界遺産でもある博物館島近くのベルリン大聖堂がみえます。同フリードリヒシュトラセ駅は、1989年のベルリンの壁崩壊時まで、市内交通網における東西の境界として機能していました。分断時には、西ベルリン人が東ドイツの物品を安価に購入できる店舗もあったといえます。



写真 ベルリンのテレビ塔から東側を望む

写真中央の緑地から手前は、東ドイツ時代に建設された高層建築群である。一方、奥には20世紀初頭の低層な建築群が見られる。近年では、ジェントリフィケーションが進行し、人気が高まっている地域である。

ニューズレター編集係より

5回目となります今年の大会では、ポスター、口頭発表、招待講演合わせて25本もの研究発表が予定されています。会場は茗荷谷と、各方面からのアクセスも良好です。皆様、奮ってご参加ください。※連載コラム『わがまち速報』は休載しました。

JAGS Japan Association on Geographical Space

地理空間学会ニューズレター 第13号

発行日：2012年6月25日 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

発行所：地理空間学会事務局 筑波大学大学院地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/FAX 029-853-6873

E-Mail geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp